

令和2年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・**最終**)

_____ 呉市立片山中学校区 校番 12 学校名 呉市立片山中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	<p>○目標の数値化がされていて、自己評価にいかされていてよい。目標も絞られてよい。気になるのは評価Dである。</p> <p>○目標達成に向けての設定項目に無理がなく実践しており、継続して取り組むための問題解決に向けて課題の掘り起こしが期待できる。</p> <p>○それぞれの目標が何をどうするのか明確であり、子どもに沿っていて適切である。</p> <p>○1年間で終わりではなく、続けていくことで成果ができてきていると思います。</p>
目標達成のための方策の適切さ	A	<p>○少ない目標に全教職員が取り組む姿勢が良い。地域やPTAを生かす姿勢もよい。</p> <p>○問題点を意識しながら、付加価値の水平・垂直展開が実施されており、常に前向きの方策を考慮して早期の拡大が期待できる。</p> <p>○明確であり、実行しやすいため、大変良い。</p> <p>○グループでの学習・発表の場を増したら良いと思います。</p>
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<p>○それぞれの数値から目標に対する達成度が示されていてわかりやすい。</p> <p>○小中のお互いのリーダーの期待値が成果として見えるように小中一貫教育で繰り返し授業を徹底し、生徒達が達成感を認識出来る指導体制が構築されている。</p> <p>○コロナ禍で、なかなか思うような取り組みが出来なかったと思うが、出来る範囲内で努力したのがわかり、非常に評価出来る。</p> <p>○ボランティアの偏りが見られますが、誰でも得手不得手があると思います。しかし、挑戦してみると、今までの見方が変わることもあると思います。出来ないからと終わらせるのではなく、声かけや募集のやり方を工夫出来ないかと思いました。</p>
今後の改善策(案)の適切さ	B	<p>○次から何をやって行くか示されていて良い。次年度に生かして下さい。</p> <p>○目標達成に向けて、新たに発生する問題解決に向け、今後先生達の「アクティブ・ラーニング」による自己研鑽・研修の自主的な学習に大いに期待します。</p> <p>○しばらくは、コロナ禍で不自由な状況が続くと思うが、この取り組みを継続して、子ども達に寄り添ってもらいたい。</p> <p>○グループ学習も学校でみんなとすることも大切ですが、それぞれ役割分担をして、自分(家)で調べる・考える・まとめる事も必要ではないかと思います。自分だけのことではないので、やろうという意識も出てくるのではないのでしょうか。そして出来ない所や苦手な所は先生に聞いたり、協力したり手伝うことでお互いの向上につながると思います。</p>
その他		<p>○コロナ禍で、大変ですが頑張ってください。</p> <p>○HP等からの最新情報発信による地域交流と人脈ネットワークの拡張に更なる期待をします。</p> <p>○HPの件ですが、簡素化してシンプルにしてみても、いかがですか？</p> <p>○身近な出来事(災害)を上手に授業とむすびつけられていました。経験したことは、頭に入りやすいと思うので分かりやすかったです。</p> <p>○HPを業者に業者等に委託して作り直してもらったら、今より更新がしやすくなると思うのですが・・・。</p>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>○新型コロナウイルス対策を継続し優先的に行う。</p> <p>○課題発見・解決学習の授業の中でさらなる「学び合い」「教え合い」を仕組み、学びを深めていく内容の校内研究授業を計画通り行った。さらに来年度に向けて継続していく。</p> <p>○本年度、現在の状況で予定していた行事が出来ないことが多くあったが、今できる小中一貫教育を推進させる取組を行った。今年度の活動を受けて来年度に向けて小中一貫教育推進についてコーディネーターを中心に計画づくりを行っていく。</p> <p>○目標達成のための方策が、より具体的なものになるよう、学年や分掌での学期ごとのまとめを充実させ、PDCAサイクルを確立させていく。</p> <p>○HP、学校だより、学年通信等での情報発信を充実させてきだが、まだまだ不十分であった。校内態勢としてHPの更新を適宜行っていく。</p>
--------------------	---